

大分中村病院広報誌 TAKE FREE



# よりそう

YORISOU

vol. 25  
2024 秋号

OITA  
NAKAMURA  
HOSPITAL

社会医療法人恵愛会  
大分中村病院

〒870-0044  
大分市舞鶴町一丁目4番1号  
TEL 097-536-5050  
FAX 097-573-8030

大分中村病院広報誌「よりそう」vol.25  
2024年秋号（2024年10月15日発行）  
発行責任者/中村太郎  
編集担当者/経営支援課（綾木）



病院HP

ご自由にお持ち帰りください

## 目次

- P2. 婦人科特集
- P3. 第9回地域連携懇談会を開催
- P4. リレー・フォー・ライフに参加しました
- P4. 骨粗鬆症を知ろう！ほねっとわ〜く開催
- P5. パリ2024パラリンピックレポート
- P6. オウンドメディア「リバイタル」オープン
- P7. 病院からのお知らせ

婦人科特集

## 子宮鏡シェーバーを導入

ウロギネセンターの紹介



## 子宮鏡シェーバーを導入

子宮鏡とは、子宮の入り口から細いカメラを挿入して、子宮内を観察し、治療を行う機械です。不正出血や月経量が多い、月経が長く続くといった症状の原因となる子宮内膜ポリープや粘膜下子宮筋腫、不妊の原因になる子宮内膜炎や子宮内癒着などが治療対象です。

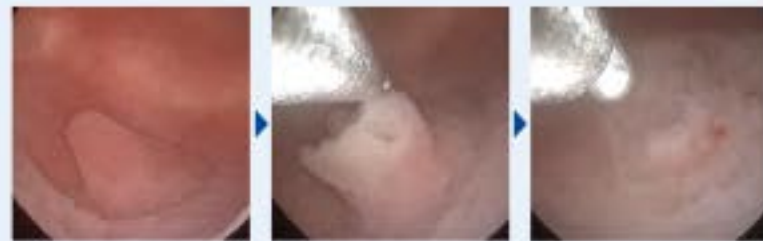
当院では外来診察で病変（ポリープや筋腫など）が発見された場合、1泊入院で静脈麻酔下にて手術を行っています。



### 子宮鏡シェーバーの導入によって 手術時間の短縮が可能！患者さんのご負担を軽減します

本年4月から当院は「子宮鏡シェーバー」と呼ばれる細径子宮鏡を導入しました。

この機器はシェーバーブレードが高速で回転し、ポリープの組織を吸引して排出します。



従来の子宮鏡手術（レゼクトスコープ）では直径9mmのモノポーラー電極（電気メス）を使用しており、手術前に子宮の入り口を広げる準備が必要でした。

新しく導入した子宮鏡シェーバーはその半分・直径5mmほどのため準備が不要なので、治療時間や患者さんの身体的負担を大幅に減らせます。また、電気メスは熱により子宮内膜を損傷するリスクがありましたが、それが無いのも大きなメリットです。

当院はレゼクトスコープ手術も行っており、患者さんにとってどの治療方法が最適かを都度カンファレンスで検討し、症例にあわせてレゼクトスコープとシェーバーを使い分けています。月経などで不安な症状が見られたら、ぜひ婦人科外来を受診してください。

### 子宮鏡シェーバーと 子宮鏡手術の違い

- 子宮鏡シェーバー**
01. ポリープや子宮筋腫をシェーバーで削り、吸引する
  02. 子宮頸管拡張をしない\*
  03. 1回の挿入で全てのポリープや筋腫を削ることができる

- 子宮鏡手術**
01. ポリープや子宮筋腫をループ電極で切除する
  02. 子宮頸管拡張をする
  03. ポリープや筋腫を切除するごとに子宮からループ電極を抜く

\*状況に応じて拡張を行う場合があります。

## ウロギネセンターのご紹介

当院のウロギネセンターでは、女性の泌尿器や骨盤底に関する様々な取り組みを行っています。

### ● 骨盤底個別リハ

尿失禁や臓器脱など骨盤底疾患の症状のある方を対象に、骨盤底筋体操の指導、姿勢調整、生活指導などを中心としたアプローチを行い、症状の悪化防止や改善を目指します。

日時 毎週月～金 13:00～ 参加料 初回 5,000円 2回目以降 3,500円

### ● 骨盤底筋体操教室

日時 毎月第4月曜日 13:30受付 13:45スタート 参加料 500円/1回

内容 講義15分 + 体操20～30分

ご希望に応じてエコー検査や、ご相談もお受けします。



### ホットラインでのご相談

たとえば「気になる症状はあるけれど、受診するべきかわからない」、「日ごろからできる体操を教わりたい」など、ちょっとしたことでもご相談ください。女性の医師または理学療法士が対応します。

電話番号 080-5060-0104 受付時間：毎週金曜日 14:00～17:00



## 第9回地域連携懇談会「魅せていきましょう！地域の力を！」開催



10月3日、当院主催による「地域連携懇談会」を開催しました。

本会は、地域医療に携わる医療機関の方々と意見交換の場を設け、お互いが有する医療機能や強みを活用し、地域の皆様に適切な医療を提供することを目的に毎年開催しています。

今年は医療機関および介護施設などから、約120名が出席されました。

前半の懇談会では、大分大学医学部総合外科・地域連携学講座教授 上田 貴威 先生をお招きし、「魅せていきましょう！地域連携の力を！」をテーマに特別講演を行っていただきました。

あわせて当院の強化しているリハビリテーションの取り組みを紹介し、その後、懇親会を行いました。コロナ禍のため中断していた食事会を5年ぶりに実施し、参加者同士の交流の場も実現できました。

今後ともこのような機会を生かし、一層の緊密な医療連携を進め、地域医療に貢献してまいります。



# 大きな愛に包まれていたパリ大会



## 今年もリレー・フォー・ライフに参加しました！

がん患者さんとご家族を支援するチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024大分」が9月22日から23日にかけて大分スポーツ公園の大芝生広場で行われ、当院からは「チーム・フィーカ」として延べ約70人のスタッフが参加しました。



22日明け方からの強い雨と落雷により一時的に開催が危ぶまれましたが、2時間遅れで無事開催となりました。夜は雨が降ったものの参加者同士で夜通しフラッグをつなぎ、皆の祈りが通じたのか、翌日23日はすがすがしい晴天でフィナーレを迎えることができました。

テントブースではマヤ歴占いや焼き菓子の販売を行い、参加者のみなさんと一緒に楽しめる空間を作り上げました。

準備に関わったスタッフの皆さん、参加した皆さん、本当にお疲れさまでした！



## 骨粗鬆症を知ろう！ほねっとわ〜く5年ぶりに開催しました

8月31日にコロナ禍で中断を余儀なくされていた「ほねっとわ〜く」を、約5年ぶりに開催することができました。「ほねっとわ〜く」とは骨粗鬆症による骨折を防ぐため、強い骨づくりを推進する当院主催のコミュニティです。健康な骨(ほね)づくりを目指す、繋がり(ネットワーク)を広げていく活動でもあります。

今回は入院患者さん30名が参加しました。テーマを「骨粗鬆症をもっと知ろう！」として、



お薬、運動、食事の側面から骨粗鬆症を防ぐまたは改善するためにはどうすればよいか、各担当スタッフから説明しました。

参加者からは「大変ためになった、これからもつづけてほしい」「食生活やお薬のことについてもっと具体的に知りたい」「自分の骨密度を知りたくなった」といった感想をいただきました。



「パリ2024パラリンピック競技大会」に日本代表選手団本部メディカルスタッフとして活動しました。大会は、168の国・地域と難民選手団を合わせて史上最大規模の約4,400人の選手が参加し、8月28日に開幕、9月8日に閉幕しました。競技種目は22競技・549種目が行われました。メディカルスタッフは医師3名、看護師3名、トレーナー3名の計9名で構成され、医務室の診療時間は8時から21時まで、21時以降はオンコール体制をとり、24時間対応でした。

メディカルスタッフは8月18日より3班に分担され選手村に入村し、日本選手団の宿泊棟の一室を医務室として利用し、診察室や医薬品、資機材などの設置準備をしました。約14時間のフライトや寒暖差のあるヨーロッパの気候に慣れないことにより体調を崩す選手や競技中に怪我をした選手たちに対する処置などを行いました。また、大会初



旬に選手がCOVID-19を発症したため、環境調整などの対応を行いました。

前回の2020年東京パラリンピック大会は全競技会場で無観客開催でしたが、今大会は8年ぶりに全競技会場で有観客開催でした。パリ2024大会の大会スローガンは「Games Wide Open (広く開かれた大会)」であり、競技会場はパリの有名な史跡や建築遺産を舞台にして行われました。その素晴らしい環境の中で、最高のパフォーマンスを発揮している選手の姿を観ることができ嬉しかったです。なにより会場で声援してくれている観客の方々や大会を支え続けたボ

ランティアの方々の温かさ(愛)を感じる大会でした。

様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑む姿は、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要なことに気づかせてくれます。4年に1度でなく、パラスポーツの魅力を引き続きメディアでも積極的に伝えてもらえることを願い、今大会にも参加させていただいたことに感謝いたします。(看護部 主任 藤尾)



# リバイタル [よみ:リバイタル] オープン!

リハ部の「人」や「取り組み」を伝えるオウンドメディア「リバイタル」サイトがオープンしました!

リハビリテーションをメインにセラピストのインタビューや対談、リハの体操や機器紹介ムービーなど、様々なコンテンツを毎月アップしていきます。どうぞ期待ください。



## ただいまWEBサイトにて公開中!



- 私たちのウェルビーイング体験  
ひとりひとりの価値観を尊重し、未来へつなぐ
- 重症設計者と語る  
新たに生まれ変わった大分中村病院の魅力に迫る
- なかのひと、わたしたちの「こころざし」  
どんなときも笑顔で患者と職員の幸せを目指して
- [MOVIE] リハビリ機器の世界  
低周波治療器 ESPURGE



## 長浜祭りに参加しました

7月5～7日に行われた長濱神社の夏季大祭・通称「長濱さま」にて、当院の職員リハ部18名が6日のお神輿巡行に参加しました。

今年は初めて舞鶴町の周辺を担当。当院や周辺のNTT西日本さんなどに立ち寄らせていただきました。

これからも地域の皆さんと、様々な形でつながりを作っていきたいと思っております!



## 院内講習会を実施しました

8月8日に愛媛県のHITO病院副院長 園田 幸生 先生をお招きし、「病院総合医による働き方改革」として院内職員を対象に研修を行いました。

病院全体を考えたマネジメント能力の必要性、その実践手法についてHITO病院での具体例を用いてご紹介いただきました。

## 慰霊祭を行いました

8月9日院内にて、当院でお亡くなりになった方々の御霊を偲ぶ「令和6年度大分中村病院慰霊祭」を執り行いました。

中村理事長をはじめとする多数の病院職員が参列し、ご住職の読経のなかお焼香させていただき、皆様のご冥福をお祈りしました。



## 病院からのお知らせ

### マイナ保険証

健康保険証はマイナンバーカードを基本とする仕組み(マイナ保険証)へ移行し、2024年12月2日から現行の健康保険証は新規発行されなくなります。医療機関・薬局を利用する際は、マイナンバーカードをご利用ください。



### 無料Wi-Fi導入しました

当院では患者さんに快適にお過ごしいただくため、外来受付や全病棟で無料で使用できるWi-Fiを導入しました。SSID・パスワードは院内に掲示しておりますので、利用規約をお守りいただいたうえでご利用ください。



### 「入院のしおり」が新しくなりました

患者さんが入院される際に必ずお渡ししている「入院のしおり」を新しくリニューアルしました。HPからもダウンロードできます。ぜひご利用ください。



### 病院救急車を導入しました

7月より近隣の医療機関からの転院搬送や受け入れ体制を強化するために、病院救急車を導入しました。今後、当院のDMATメンバーや医療スタッフが運用を行ってまいります。



### 主な入院・外来患者データ (2024年6月～2024年8月)

新入院患者数	325人 (月平均)
外来患者延べ数	5,408人 (月平均)
紹介受入件数	280件 (月平均)
救急搬送件数	176件 (月平均)
手術件数	162件 (月平均)

### 病棟別実績 (2024年6月～2024年8月)

	病床数	稼働率	平均在院日数	
急性期病棟	• 3F 南病棟	40床	82.9%	9.9日
	• 4F 南病棟	40床	86.6%	12.7日
	• 4F 北病棟	40床	89.6%	14.6日
回リハ病棟	• 5F 南病棟	40床	84.2%	50.6日
	• 5F 北病棟	40床	85.2%	44.0日
地ヶア病棟	• 6F 南病棟	60床	86.6%	17.6日
病院全体	260床	85.9%	21.1日	